

2017 BUSINESS REPORT

アイエーグループ株式会社

<証券コード 7509>



第34期 中間報告書

2016.4.1 ~ 2016.9.30



アイエグループは、「グッドカンパニー」を目指します。

当社は1984年に創業をしました。

1996年9月には現ジャスダック市場に株式を公開しております。

2008年10月には純粋持株会社体制への移行に伴い、商号を株式会社アイエからアイエグループ株式会社に変更いたしました。

当社グループの創業の「志」は、グッドカンパニーを創ることにあります。

当社グループが目指すグッドカンパニーとは、お客様および社会にとって存在価値の高い会社であり、社員にとってやり甲斐と自分自身の大きな成長が見込める会社であります。

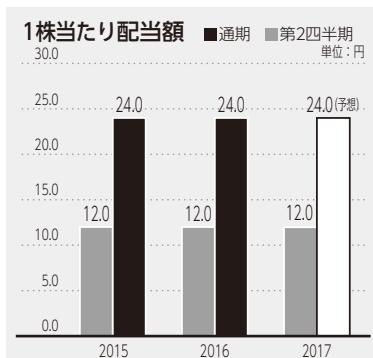
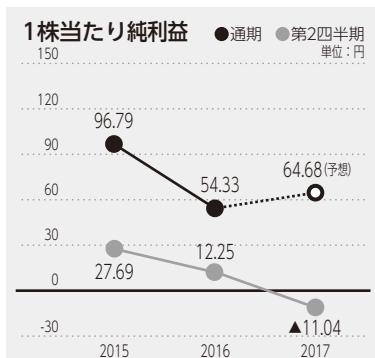
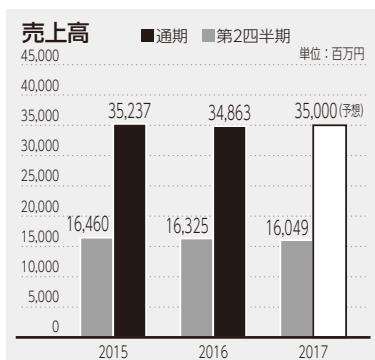
社員各人はさまざまな知恵や新たな発想、そしてチャレンジ精神を持って当社グループに参加することにより、まさに「自己拡大の場」「自己実現の場」としていただきたいと考えます。

会社のために“人”が在るのではなく、“夢を持った人”のために会社が在る、というように努めたいと思います。

私達は常に、明るく・元気に・楽しく、を合言葉に「志」の達成に向け会社一丸となって努力してまいります。

企業理念

1. 社員の成長と発展を願い、仕事環境の創出をいたします。
2. 社会との関わりを大切にし、豊かな社会作りに貢献いたします。
3. 時流変化を正しく認識し、絶えざる革新を行う企業経営に邁進いたします。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は、2016年9月30日をもって、第34期の第2四半期連結累計期間(2016年4月1日から2016年9月30日まで)を終了いたしましたので、ここに報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかし、英国のEU離脱に伴う欧州経済の混乱や中国経済の減速懸念等は、その先行きを依然不透明な状況としております。また、個人消費につきましても雇用・所得に改善が見られるものの、その回復は力強さを欠くものとなっております。

そのような中、当社グループにおいては建設不動産事業が増収増益となりましたが、基幹事業であるカー用品事業、ブライダル事業はともに減収減益の結果となりました。

カー用品事業につきましては、車両販売において取扱店舗の増設と販売員の増強に尽力し増収が図られました。しかし、商品販売につきましては、ETCなど一部好調な商品もありましたが、前期における冬用タイヤの販売不振が夏用タイヤの履き替え需要の減少となったタイヤをはじめ、総じて前年同期に比べて減収となりました。また、事業税やタイヤ倉庫の家賃の増加等で販売管理費が前年同期より増加し、前年同期に比べ減収減益となりました。

ブライダル事業につきましては、2015年3月に東京都港区に開業しましたアルカンシエル南青山は、お客様の認知度の高まりに伴う施行組数の増加で増収が図られました。しかし、一部既存式場における施行組数および施行単価の減少に伴う減収と、2016年3月に石川県金沢市に開業しましたアルカンシエル金沢の販売管理費の増加で、前年同期と比べ減収減益となりました。



代表取締役社長
古川 教行

なお、岐阜県岐阜市のリュクスガーデン岐阜は、2016年9月に事業譲渡を行っております。

建設不動産事業につきましては、高収益物件の積極的な売却と賃貸稼働率の向上、および提案型による収益性の高い建築工事に注力した結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

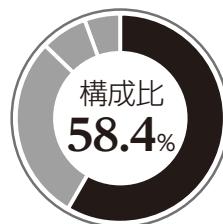
その他事業につきましては、前期に神奈川県藤沢市にオープンさせたコメダ珈琲1店舗を加え、コメダ珈琲4店舗が収益に寄与し、前年同期と比べ増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,049百万円と前年同期比1.7%の減収となり、営業損失につきましては170百万円(前年同期は51百万円の利益)、経常損失につきましては21百万円(前年同期は217百万円の利益)となりました。なお、ブライダル事業におけるリュクスガーデン岐阜の事業譲渡に伴い24百万円の特別利益を、また、カー用品事業の2店舗の閉鎖等に伴う特別損失として21百万円を計上しております。

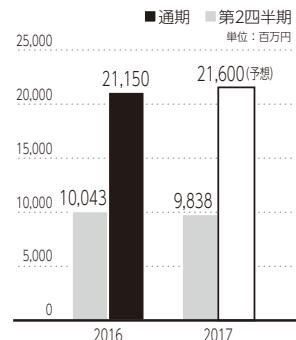
これにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は、88百万円(前年同期は101百万円の利益)となりました。

セグメント情報

カー用品事業



売上高
9,838百万円



事業戦略

- ・社員教育の強化（国家整備士取得推進、体系的な階層別・職種別研修の実施）
- ・ピットサービス部門の強化（運輸局指定工場認可の推進）
- ・事業領域の拡大（タイヤ預かり事業の推進）

トピックス

車買取・販売の強化

取扱い店舗を増やし、お客様のあらゆるニーズに対応



スーパーオートバックスかわさき

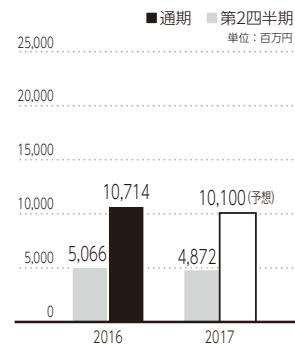


オートバックス海老名店

ブライダル事業



売上高
4,872百万円



事業戦略

- ・顧客満足の更なる向上（質の向上プロジェクトの推進、社員教育の強化）
- ・施設の鮮度管理（継続的リニューアルの実施）
- ・ブランディング戦略（新規式場の知名度の向上）
- ・エリア本部制として迅速な経営判断と責任の明確化（関東、中部、関西の3エリア制）

トピックス

既存式場のリニューアル



アルカンシエル大阪
(ガーデンをリニューアル)



リュクスマリアージュ名古屋
(インナーテラスをリニューアル)

セグメント情報

建設不動産事業



売上高
1,236百万円



事業戦略

- ・所有物件の高稼働率による収益の確保
- ・グループ資金を利用した高収益物件の適時購入確保
- ・グループ資産の管理・運営および建築・管理営繕プロデュース

トピックス

コンテナ建築「IDMobile」の紹介

コンテナ型ガレージ【A-GARAGE / BLACK】
強度を活かした最強ガレージ！

「IDMobile」は、コンテナ特有の「強さ」「移動性」「ストック性」を活用し、全く新しい発想で必要な時に必要なだけ利用することの出来る、次世代型ユニット建築です。

- ①強さの秘密
- ②環境にやさしい工法
- ③速さの秘密



IDMobile®は、IDMの登録商標です

IDM×建築家 注文住宅の紹介

【ペットと暮らす二世帯住宅】



【音楽室のある家】



その他事業



総務・経理代行業務 コメダ珈琲の経営



売上高
916百万円



コメダ珈琲店 お客様にコミュニティーの場を提供するコメダ珈琲店



事業展開

東海・関西エリア

「オートボックス」	5店舗
「スーパーオートボックス」	1店舗
「アルカンシエル」	5店舗

首都圏エリア

「オートボックス」	20店舗
「スーパーオートボックス」	5店舗
「テクノキューブ」	12店舗
「アルカンシエル」	2店舗
「フィールズ」	3店舗
「コメダ珈琲」	4店舗

首都圏・東海・関西 合計 【グループ全社 57店舗】

「オートボックス」	25店舗	「スーパーオートボックス」	6店舗
「テクノキューブ」	12店舗	「アルカンシエル」	7店舗
「フィールズ」	3店舗	「コメダ珈琲」	4店舗

連結財務諸表

■連結貸借対照表

(単位:千円)

資産の部		
科目	当第2四半期末 (2016年9月30日現在)	前期末 (2016年3月31日現在)
流動資産	9,818,247	10,286,992
現金及び預金	1,766,842	2,029,077
売掛金	1,012,868	1,157,567
たな卸資産	6,005,876	6,084,449
繰延税金資産	333,514	333,514
その他	699,144	682,747
貸倒引当金	—	△365
固定資産	22,228,453	21,713,550
有形固定資産	14,665,632	15,254,920
建物及び構築物	8,832,965	9,311,947
土地	5,131,697	5,131,697
建設仮勘定	432	—
リース資産	208,885	241,277
その他	491,652	569,998
無形固定資産	382,162	388,198
電話加入権	7,476	7,784
のれん	220,950	263,721
その他	153,735	116,692
投資その他の資産	7,180,658	6,070,431
投資有価証券	157,234	192,102
長期貸付金	22,895	22,967
長期前払費用	390,913	420,903
差入保証金	5,524,811	4,366,888
繰延税金資産	965,554	956,084
その他	142,146	134,452
貸倒引当金	△22,895	△22,967
資産合計	32,046,701	32,000,542

負債の部		
科目	当第2四半期末 (2016年9月30日現在)	前期末 (2016年3月31日現在)
流動負債	9,216,993	8,915,425
買掛金	1,457,628	1,293,641
短期借入金	4,445,081	4,022,044
未払法人税等	109,220	268,565
未払消費税等	112,821	397,831
未成工事受入金	67,159	75,257
賞与引当金	419,697	397,592
役員賞与引当金	—	48,000
ポイント引当金	208,263	192,408
繰延税金負債	65,442	66,210
その他	2,331,678	2,153,873
固定負債	9,154,287	8,977,381
長期借入金	6,097,767	5,791,826
長期預り保証金	1,127,643	1,276,078
退職給付に係る負債	397,911	387,549
役員退職慰労引当金	275,000	250,000
資産除去債務	1,094,407	1,086,637
繰延税金負債	16,934	16,934
その他	144,624	168,355
負債合計	18,371,281	17,892,806
純資産の部		
株主資本	13,654,804	14,063,530
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	10,757,716	12,102,356
自己株式	△241,803	△1,177,716
その他の包括利益累計額	20,615	44,205
その他有価証券評価差額金	22,333	46,600
繰延ヘッジ損益	△1,718	△2,395
純資産合計	13,675,420	14,107,736
負債・純資産合計	32,046,701	32,000,542

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

■ 連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期(累計) 自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日	前第2四半期(累計) 自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日
売上高	16,049,380	16,325,582
売上原価	9,184,400	9,214,452
売上総利益	6,864,979	7,111,129
販売費及び一般管理費	7,035,173	7,059,727
営業利益又は営業損失(△)	△170,194	51,402
営業外収益	184,313	207,025
営業外費用	35,147	40,951
経常利益又は経常損失(△)	△21,028	217,477
特別利益	24,981	124
特別損失	21,978	97
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△18,025	217,503
法人税、住民税及び事業税	70,591	115,745
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,616	101,758

(記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。)

会社概況

会社概要 (2016年9月30日現在)

■ 商号	アイエーグループ株式会社
■ 設立	1984年3月21日
■ 資本金	13億1,410万円
■ 商号変更	2008年10月1日
■ 代表者	代表取締役社長 古川 教行
■ 本社	神奈川県横浜市戸塚区品濃町545番地5
■ 事業内容	社内外に対してグループの方向性を明示するとともに、各種の専門サービスをもってグループ各社の事業運営を支援すること。
■ ホームページ	http://www.ia-group.co.jp/
■ 社員数	1,023名(グループ全社)
■ 株式上場取引所	東京証券取引所(銘柄コード7509)
■ 取引銀行	横浜銀行 東戸塚駅前支店 三菱東京UFJ銀行 戸塚駅前支店 三井住友銀行 横浜駅前支店 みずほ銀行 横浜駅前支店 三菱UFJ信託銀行 本店 大垣共立銀行 岐阜支店

主要関係会社 (2016年9月30日現在)

- **株式会社アイエー** <http://www.i-a.co.jp/>
カー用品事業
日本最大のカー用品総合専門店チェーン「オートボックス」
「スーパーオートボックス」および車検専門店「テクノキューブ」
のフランチャイジー店舗の経営
・株式会社アイエーマネージメントサービス
提携企業の店舗指導・支援およびコンサルティング事業
- **株式会社アルカンシエル** <http://www.arcenciel-g.jp/>
ブライダル事業
ハウスウエディングスタイルの結婚式場の経営
・株式会社アルカンシエルプロデュース
ブライダル事業に関わるコンサルティング事業
- **株式会社アイディーエム** <http://www.idm-net.jp/>
不動産販売管理事業
総合不動産事業、「フィールズ」店舗による不動産賃貸仲介サービス業務、ならびに建設事業
・株式会社アイディーエムパートナーズ
不動産管理業務
・株式会社IDMobile
コンテンツユニットの設計および企画製造販売業務
- **株式会社IAGアセット** <http://www.iag-asset.jp/>
保有不動産管理事業
グループ資産の管理・運営
・株式会社IAGコンストラクション
不動産開発・管理・建設事業
・株式会社エフ・エム・クラフト
保有不動産管理業務

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	古川 教行
取締役副社長	田畑 憲士
専務取締役	小野 敦
取締役	川井 一秀
取締役	岡野 良信
取締役	足立 浩二
取締役	藤井 敏光
取締役	佐野 尚見
常勤監査役	野村 光夫
監査役	橋爪 俊一
監査役	今成 達之

(注) 1. 取締役佐野尚見氏は、社外取締役であります。

2. 監査役橋爪俊一氏および今成達之氏は、社外監査役であります。

株式の状況 (2016年9月30日現在)

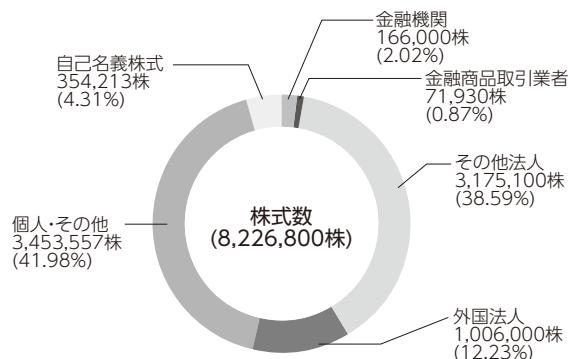
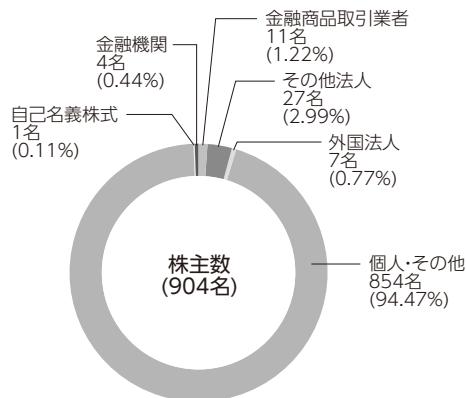
発行可能株式総数	26,744,000株
発行済株式の総数	8,226,800株
株主数	904名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社草創	2,890	36.71
ピーエイチフォーファイナリーロープライズストックファンド	755	9.59
古川教行	242	3.09
古川恵子	241	3.07
小黒良太郎	216	2.74
田畑憲士	190	2.41
株式会社オートボックスセブン	180	2.29
川井一秀	156	1.99
小黒美樹子	135	1.71
金野茂樹	123	1.56

(注) 持株比率は自己株式(354,213株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告 公告掲載 URL http://www.ia-group.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

株式に関するお手続きについて

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お 問 合 せ 先	
○特別口座から一般口座への振替請求	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○音声自動応答電話による請求 0120-244-479 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
○単元未満株式の買取請求		
○住所・氏名等のご変更		
○特別口座の残高照会		
○配当金の受領方法の指定(※)		
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	
○支払期間経過後の配当金に関するご照会		
○株式事務に関する一般的なお問合せ		

(※)特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お 問 合 せ 先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711 (通話料無料)
○支払期間経過後の配当金に関するご照会		
○株式事務に関する一般的なお問合せ		
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問合せください。	

